

# ミューNews



**男女がともにいきいきと輝き、  
住んでいてよかったと思うまち「おおぶ」  
住んでみたいと思うまち「おおぶ」の実現をめざそう**

## 平成30年度 合同講座「市長への提案・こんなまちであつたらいいな」

2月7日（木）、メンズカレッジ・レディースカレッジ、子育てサロン合同講座として、岡村市長を囲んで「こんなまちであつたらいいな、市長への提案」を開催しました。

平成9年に初めて開催してから、今年で22回目を迎えます。市長に直接質問できる貴重な場として、各講座学んだ事柄の中で感じたことなど発表をしました。

メンズカレッジが質問した「おおぶの街づくり」に関しては、大府市が力を入れて取り組んでいる「子育て支援」「高齢者支援」「街の賑わいづくり」の三本柱について市長から詳しくお話を伺うことができました。



岡村秀人市長



子育てサロンからは「放課後子どもプラン」について質問があり、大府市は他市と違い各学区すべてに児童センターがあることや、4月には保育園が増えることなど、子育て支援についての現状を知ることができました。講座の中で、市長から大府市のビジョンを伺えることは、とても貴重な時間となりました。

### 【感想】

- 市長にいろいろな声を届けられる良い機会なので、ぜひ続けてほしい。
- 合同講座なので、他の講座がどのような活動をしているのか、知ることができてよかった。
- 講座生の質問に、市長が自ら答えてくださり、とても親しみを感じました。各講座からの提案もとても心強く、今の大府市の問題点が分かりました。今回出た問題点を改善していただき、これからもたくさんの方が来てくれる大府市にしてほしいです。
- 市長のお話を直接聞ける場があることはとてもいいと思います。大府市がどんなことに頑張っているのか、広報などでは知れない情報を知ることができてよかった。

東京都の中野区、世田谷区ではこの4月から区立中学校の制服を性別に関係なく自由選択できるようになります



二枚もろおんけとや

# 暴力のない社会を目指して

男女間における暴力は、犯罪となる行為をも含む重大な人権侵害です。男性優位社会であることや男女の経済格差など社会構造を背景に女性が被害者となるケースがほとんどです。女性に対する暴力の根絶は、男女共同参画社会の実現のための重要課題の一つといえます。

## 若年層を取り巻く性暴力の現状は？

近年、ようやく日本でも、若年層の性暴力被害について関心が寄せられるようになりました。統計上、性暴力被害者の多くは若年層が占めます。「犯罪白書」の強姦および強制わいせつ被害者の年齢別構成比をみると、もっとも多いのは20歳代であり、13歳から19歳も3割以上を占めます（法務省犯罪白書平成27年度版）。しかし、今までは若年層の性暴力被害について特化した被害者支援や防止政策は図られてきませんでした。

## ようやく始まった国の政策

2016年に公表された、若年層の性暴力被害政策についてまとめた「性犯罪・性暴力被害根絶のための10の提言」では、刑法改正を含む性犯罪の罰則の強化と性犯罪被害者支援ワンストップセンター（注1）の設置促進がうたわれました。

提言では「10代、20代の女性は性暴力にあっても、誰にも相談できず、自分だけで抱え込み、顕在化しにくく、支援になかなかつながらない」ことを指摘し、若年性暴力被害の実態や相談支援の現状を把握した上で、今後の相談・支援の在り方について検討することをまとめています。

近年問題となっている「JKビジネス」についても、2019年に関係府省対策会議が設置され、今後の対策が決定されました。今後の成果が期待されます。

（注1）被害者に対し被害直後から医師による心身の治療、相談、法的支援など、総合的な支援を一ヶ所で提供し、被害者の心身の回復を図るとともに、被害の潜在化を防止することを目的として設置されたもの  
参考）吹田市男女共同参画センター調査研究報告

## 若い世代における「交際相手からの暴力」 デートDVって知ってる？

日常の何気ない言動の中に暴力に該当するものや、暴力につながりかねないものが潜んでいます。若者がデートDVを知ることで、加害者にも、被害者にもなることなく、暴力に無縁で、対等な人間関係が築いていけるよう、私たち大人も伝えていく必要があります。



デートDVとは、愛情があっても  
相手を束縛して苦しめている事です

**デートDV＝[言葉・態度による暴力]**



デートDVの種類	
身体的暴力	たたく、つねる、相手に物をぶつけること
言葉の暴力	「バカ」「デブ」など傷つくことを言うなど
心理的暴力 (行動の監視・管理)	メールや電話の着信履歴をチェックするなど。
性的暴力	無理やり性的行為をするなど
経済的暴力	デート費用などいつもお金を払わせること

## 第13回 DV シンポジウム

### 「傷つけ合う家族」～ドメスティック・バイオレンスを乗り越えて～

政府では、女性に対する暴力の予防と根絶に向けて、毎年11月12日～25日までの2週間「女性に対する暴力をなくす運動」を実施しています。

ミュージアムでも、夫や恋人からの暴力「ドメスティック・バイオレンス（DV）」の実状について幅広く知ってもらうために、毎年11月にロビーをパープルに飾り、DVシンポジウムを開催しています。第13回目のシンポジウムには、一般社団法人WANA関西・代表理事の藤木美奈子さんをお招きし、「傷つけ合う家族」をテーマにご講演いただきました。

#### 講師プロフィール

#### 講師 藤木美奈子さん

貧しいシングルマザーの子どもとして全国を転々とし、児童虐待、DV被害を経験する。女子刑務所刑務官を経て、1995年雇用されずに働く女性の社会的自立を支援するNPO法人WANA関西を設立。

活動21年目。

現在は実践研究者として、貧困シングルマザーや精神に障がいのある方のエンパワメントを目的に自尊感情回復プログラム「SEP」を展開、講演や研修の講師として全国で活躍する。

著書に「傷つけ合う家族」、「親に壊された心の治し方」他多数。



#### 書籍紹介

#### 「親に壊された心の治し方」



講演では、ご自身の経験をもとになぜDVが起こるのか、細かに説明されました。中でも生育過程において親からもたらされた傷つき「育ちの傷」が様々な問題行動（とりわけ対人関係）の要因になるとのこと。「育ちの傷」を抱える人の共通点は、考えがマイナス思考で感情が不安定「どうせ自分なんて・・・」と自尊感情の低さが問題となってきます。

しかし、この「育ちの傷」はトレーニングで克服できます。そのトレーニングとは・・・

<SEP：自尊感情回復プログラム>

①自身の生きづらさは「生育環境の影響」が大きいという理解→②自分を責めない、自分をラクにする新しい考え方の学習→③新しい考え方を生活の中で習慣化する練習

この3つが揃えば「育ちの傷」が癒え、自尊感情が回復できます。

講演の最後には「どんな人生もいいものだ。人生の価値は、あなたがこれまでに経験した学びの量にある。険しい山を選んだ人生に胸を張れ。」と希望の言葉を残され、参加者の心に響く講演会となりました。

「育ちの傷」による問題行動は負の連鎖を生み出します。その連鎖を断つ確かな方法「SEP（自尊感情回復プログラム）」を本書で初めて公開！

# 大府市小中学校初任者研修

13人に1人と言われるセクシュアルマイノリティへの理解を教育現場でも深めてもらうために、昨年8月、NPO法人ミュージラン・おおぶが講師を派遣し、初めて市内の小中学校初任者研修でLGBTについて研修会を行い、20名の新任の先生方にご参加いただきました。先生方はLGBTの基礎知識を学んだ後、当事者の方たちから直接話を聴き、理解を深めました。学校におけるLGBTの当事者の子どもたちの生きづらさが叫ばれる今日この頃、研修前と研修後、先生方の気持ちはどのように動いたのでしょうか。



## LGBTの基礎知識

### ■LGBTとは

以下の4つの頭文字をとったセクシュアルマイノリティの総称の一つ

L（レズビアン）…女性同性愛者

G（ゲイ）…男性同性愛者

B（バイセクシュアル）…両性愛者

T（トランスジェンダー）…からだの性と心の性に違和感がある人

### ■セクシュアリティのあり方

- ①からだの性（生物的性）、②こころの性（性自認）、③好きになる性（性的指向）、④表現する性（性表現）の4つの組み合わせで決まるので、多様な形がある。

### ■LGBTの割合

約7.6%=13人に1人（左利きの人またはAB型の人口と同じくらい）

### ■教育現場におけるLGBT

- ・約6割のLGBTの子どもが教育現場でいじめや暴力を受けたことがある。
- ・約7割のトランスジェンダー（性同一性障害など）が自殺念慮を抱いたことがある。



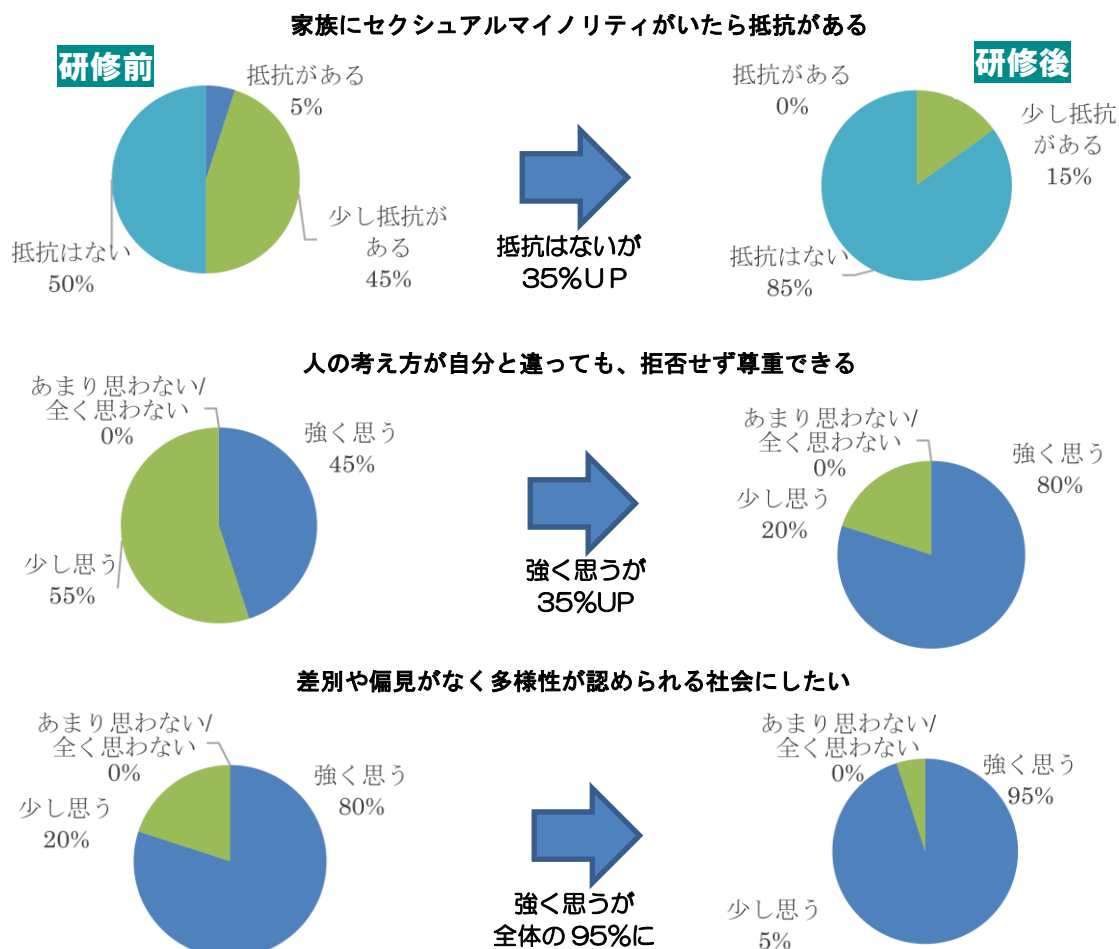
（参考）当日の配布資料 より

当日講演をしてくださったのは、NPO法人ASTAの幸奈さん。幸奈さんは男性として生まれ、心は女性のトランスジェンダー。そして好きになる性は女性のレズビアンです。愛知県内で女性として教員をされています。LGBTの当事者ではなくても、誰もが性的指向と性自認においては当事者であり、それらを考えることはすべての人の「生きやすさ」につながるということ、本人の了解を得ずに公にしている性的指向や性自認を第三者に暴露する行為（アウティング）はしてはいけないことなどを学びました。そして、LGBTだけでなく、いろいろなことで困っている方の「Ally（アライ）」（支援者・同胞・味方という意味）になってくださいと、おっしゃった言葉が印象的でした。

### ■参加した先生方の感想

- ・いろいろな講師のお話を聴いて、当事者は特別ではないということ、性というよりも個性としてとらえることが大切だと分かりました。
- ・無意識のうちに話していることでも、もしかしたら子どもを傷つけることになるかもしれないと学んだ。
- ・人生観が広がったような気がします。
- ・私はカミングアウトをしやすい社会になると良いと思っていましたが、「そもそもカミングアウトをしなくても生きやすい社会になると良い」という考えに驚きました。
- ・カナダで生活した経験があり、カナダのトランスジェンダーの方々への理解は、特別ではない自然なものとして感動しましたが、日本の教育に関わることになって、その理解のなさに驚きました。
- ・人として誰もがその存在を尊重される世界になってほしいと思います。
- ・みんな違ってみんないいと思え、多様性が認められる社会になればと改めて感じました。

## ■研修前・研修後の先生方のイメージの変化(アンケートより)



LGBTに対するイメージの変化だけに限らず、「人の考え方が自分と違って拒否せず尊重できる」などの項目でも、研修前後で明らかな変化が見られました。

多様性の時代、お互いがお互いの個性や生き方を認められる社会になってほしいものですね。

## ミューいしがせ女性の悩みごと相談室 ひとりで悩んでいませんか

### 女性の悩みごと電話相談

**電話番号:0562-44-9117**

女性が直面する様々な悩みについて、相談員が解決のための一歩を踏み出す応援をしています。ひとりで悩まず気軽にお電話下さい。

#### 専門相談員による女性のための面接相談日

- ※ 3月4日(月)・18日(月)
- ※ 4月1日(月)・15日(月)
- ※ 5月20日(月)
- ※ 6月3日(月)・24日(月)

#### 弁護士による女性のための法律相談日

- ※ 5月8日(水) 7月10日(水)

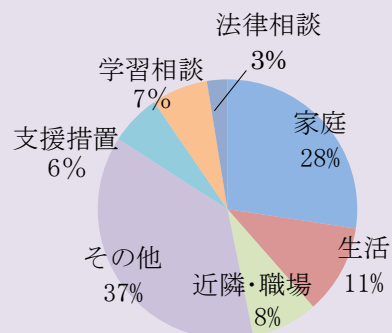
面接相談・法律相談は予約制です。



### H30年度のミューいしがせの相談件数と相談内容

	10月	11月	12月	1月
電話	70	71	48	46
面接	19	19	15	17
その他	3	3	2	1

相談件数 314 件 (内 DV120 件)



# 管理職セミナー

10月～11月  
3回開催

## 未来のカギを握るのはボスだ!

## これからのボスに必要なノウハウとは?

少子高齢化社会を迎え、労働力の減少が懸念される時代、子育てや介護など時間に制約のある従業員の活用や、職場の多様性がますます求められます。管理職セミナーでは、部下のマネジメントや職場のメンタルヘルスなど、企業成長に必要な管理職のノウハウについて学びました。

**第1回 10月17日(水)** 講師:榊原陽子(NPO 法人ファザーリング・ジャパン会員・社会保険労務士)

### 企業成長に必要な部下のマネジメント・効果的なリーダーシップ ～業績と笑顔が共に増える職場づくりとは?～

少子高齢化、長時間労働、共働き世帯の増加など、社会的背景を学びながら、職場のダイバーシティ（多様性）、多彩な人材マネジメントについて学びました。

《参加者ひとこと》

- ・自分のマネジメントに欠けている部分に気づけたり、心がけると良い点を確認でき良かった。
- ・リーダーに必要な具体的手法がためになった。



**第2回 11月7日(水)** 講師:斎藤政彦(大同特殊鋼(株)統括産業医)

### 職場のメンタルヘルス・～部下がうつ病?その時、上司はどうする?～

産業医として数多くの事例にあたられた斎藤氏より、職場のメンタルヘルス対策について学びました。

《参加者ひとこと》

- ・新型うつを再確認できた。実例を示しての内容は、自社の現状に重ねやすく、分かりやすかった。



**第3回 11月21日(水)** 講師:鈴木昌子(NPO法人ファザーリング・ジャパン会員・(株)リンクアーツ代表)

パネリスト:原 丈衛(豊田合成(株) 人材育成推進室 グループリーダー)

中室佳子(大和リース(株) 名古屋支店 管理三課 課長)

### イクボスマネジメント

### ～実践企業に聞く、皆が働きやすい企業経営とは～

「イクボス」の実践をしている企業より、パネリストを招き、具体的事例やボスとして部下と関わるコツなどについてお話を伺いました。

※イクボスとは・・・職場で共に働く部下の仕事と生活の両立を考え、その人のキャリアも応援しながら、組織の業績も結果を出しつつ、自らも仕事と私生活を楽しむことができる上司（経営者・管理職）のこと

《参加者ひとこと》

- ・具体的な取組について、自分のグループでも実践しようと思いました。



来年度も3回コースで開催します。



# ＊ふれあい広場 ～みんなが集う、学ぶ、語り合う場 ミューいしがせ～

ミューいしがせの図書コーナーに、続々と新刊が仲間入りしています♪  
今年度入った本の中から3冊をご紹介します。

図書コーナーの本は大府市にあるおおぶ文化交流の杜 a l l o b u の図書館カードで借りることができます。



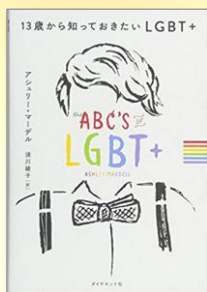
## 「認知症の人を理解したいと思ったとき読む本」

どうしてこんな行動をするの？  
いった何を考えているの？  
軽度認知症の不可解な行動に戸惑い、振り回される家族に向けて、患者が生きている世界を訪問診療を行う専門医が説き明かし、接し方と介護のコツが見えてきます。  
内門大文/監修  
大和出版

## 「13歳から知っておきたい LGBT」

社会のなかで「自分は何者なのか」という問いに向き合い続ける約40名のLGBT+の生の声を収録しています。全篇を通じて伝わってくる「人間は多様であり、どんなアイデンティティも等しく尊重されるべき」というあたたかいメッセージに、心揺さぶられる一冊です。

アシュリー・マーデル/著  
須川綾子/訳  
ダイヤモンド社



## 「顔ニモマケズ」

リンパ管腫、動静脈奇形、全身型円形脱毛症、アルビノ…。人とは違う見た目に悩み抜いてきた人たちがつかんだ「幸せに生きるための方法」とは。

「見た目が9割」の現代社会で、どんな「見た目」でも幸せになれることを証明した9人の物語。

水野敬也/著  
文響社

## 日本女性会議に参加しました

10月12日～14日「日本女性会議 in 金沢」が開催され、理事他有志数名が参加してきました。女性能楽師の記念講演や、分科会では、DV・ハラスメントについて学ぶことができました。

※日本女性会議とは、女性を取り巻く課題や解決策を探るとともに、参加者相互の交流促進やネットワークを図ることを目的とし、毎年、全国から約2,000人の参加者が集まる会議です。2020年には刈谷市にて開催予定です。



## 休館日変更のお知らせ

5月1日(水)・6月30日(日)は休館とさせていただきます。  
(ただし、6月24日(月)は開館いたします。)  
変則的となりますが、お間違えの無いようお願いいたします。



ご意見・ご感想を  
ミューぷらん・おおぶまで  
お寄せ下さい。  
問合せ先のTEL・  
FAX・メールでどうぞ!



NPO法人

ミューぷらん・おおぶ

問合せ先

〒474-0035

大府市江端町4-1 石ヶ瀬会館内

TEL: (0562) 48-0588

FAX: (0562) 44-9144

HPアドレス: <http://www.medias.ne.jp/~myuplan/>

Eメール: [misigase@ma.medias.ne.jp](mailto:misigase@ma.medias.ne.jp)